

避難所運営には被災者の多様性を考慮することが重要です。高齢者や妊婦さん等の要援護者からの意見も取り入れ安全で安心な避難所作りをしましょう(「ユイト票」や「アクト」の活用、外国語表記の配慮も)。

また、男女共同参画センターや民間支援団体と連携し、相談員に女性を起用した窓口を設置しましょう。犯罪に至る前での問題解決に心掛けます。

- ・多角的な二入を反映
- ・相談窓口の設置

避難所内の安全を維持するため活動している地域安全推進員等に対して協力をお願いするなどし、複数人のグループで「見せる」見回りを行います。

また、避難所を運営する方たちは一致団結して毅然とした態度を取るとともに、犯罪発生時には躊躇することなく警察に通報し、暴力を許さない環境を作ります。

- ・夜間の見回りをしよう
- ・暴力を許さない環境を作ろう

避難者名簿に、安否確認時の個人情報開示の同意、不同意について記載してもらいましょう。

部外者はまず受付してもらい、腕章などで識別できるようにして、不審者侵入を防止しましょう。

また、避難所に入っている方々で周辺を回り、危険な箇所を把握しておきましょう。

- ・避難者名簿の確実な作成、管理
- ・部外者はまず受付、識別を
- ・避難所周辺の危険箇所の把握

問題が生じたら、皆で検討し、ルールを作っていきます。

多角的な視点を取り入れるため女性運営者を登用し、女性が提案しやすい環境を作りましょう。

明るく死角のない所への女性用トイレの配置、異性の目線が気にならない場所への物干し場、授乳室、女性用の世帯用スエーデンの設置など、犯罪が起きにくい環境づくりを心掛けましょう。

- ・避難所ルールを作っていく
- ・女性運営者を複数登用しよう
- ・女性専用トイレ(子供も使用)や専用スエーデンを作ろう

～ 意見を集めよう！ ～ 守ろう！ ～ 防ごう！ ～ 作ろう！ ～

① ～ 避難所運営のみなさまへ～

このたび、被災されたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。

警察では、大災害時の避難所生活において、被害に遭いやすい女性や子供を守ることをはじめ、被災された多くの方が犯罪等のトラブルに巻き込まれることのないよう、この防災防犯マニュアル「青のまもり」(避難所運営者用)を作りました。

被災されたみなさまが、少しでも安心して生活できる避難所運営のため、是非、ご活用ください。

② ～ 聞こう！みんなの声～

- ・女性や子供への暴力が増加
- ・女性や子供の意見が反映されず
- ・性別での役割分担があつた

大災害時には女性や子供が性犯罪を含む暴力被害に遭いやすいことが国際的に知られています。

また、避難所の運営は大半が男性で、女性は炊き出し等を担当させられるなど、性別で役割が決められることが多く、避難所環境や物資の配布等についても、女性や子供の要望があまり反映されていませんでした。

③ ～ 相談を受けたら？～

- ・性犯罪や窃盗などの犯罪について管轄警察署に通報しましょう。また、緊急事案は110番通報してください。
- ・DV・ストーカーについて  
避難所名簿の取扱いに注意するほか、管轄警察署にも相談するように促し、所在等を伝えておくことを教示しましょう。

◇管轄警察署  
電話番号：

安心できる環境で話を聞いてあげてください。

# 防災女子

防災防犯マニュアル  
～ 青のまもり～

静岡県警察

※番号順に点線を山折りし、財布などに入れて活用して下さい。

